

持続的成長を実現するために

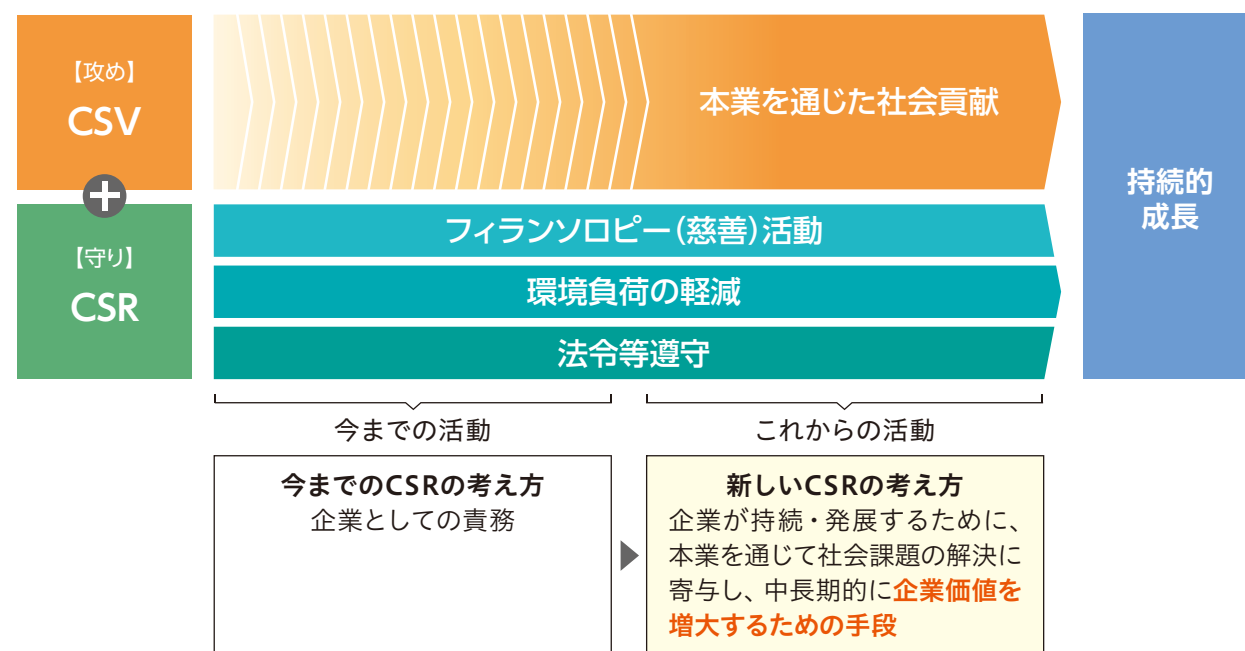
セブン銀行のCSR活動の考え方

セブン銀行は従来からCSRの重要性を強く認識し、事業の持続・発展のためにはCSR活動が不可欠であるという考えのもと、さまざまな取り組みを行ってきました。

多様化する社会課題、社会要請に対し、私たちに期待される役割は変わりつつあります。

中長期的な企業価値の向上には本業に注力するだけでなく、事業を通じ社会と企業の双方に価値を生み出すCSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)に取り組みながら、SDGsとの関連性も考慮しサービスの拡充を図っていきます。

●セブン銀行のCSR活動の変化



SDGsとは

2015年9月、国連本部で「国連持続可能な開発サミット」が開催されました。

その成果文書として「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が加盟193カ国の全会一致で採択され、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が掲げられました。

SDGsは17の目標と169のターゲットから成り、2030年までにこれらの目標を達成するために、企業の参画・貢献を期待されているものです。



SDGsに関する取り組み事例 1

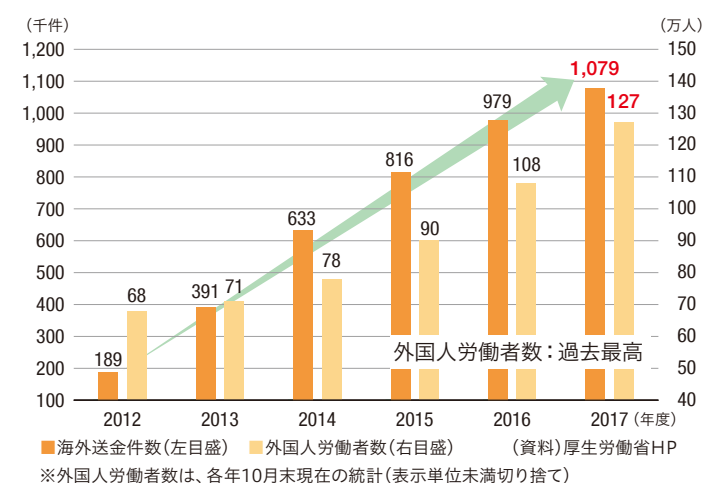
外国人のお客さまに安心・安全で便利なサービスを提供



グローバル化の進展を背景に、訪日外国人数は年々記録を更新し、人手不足による労働力の担い手として日本に定住される外国人の方も増加しています。在日外国人数が過去最高を記録する一方で、在日外国人向けに十分な金融サービスができていないという社会課題があります。

セブン銀行は海外送金サービスを通じて、在日外国人のお客さまにもご満足いただける金融サービスを提供するという社会課題の解決に取り組んでいます。多文化共生・観光推進にも注力しており、地方公共団体と連携し「海外送金アプリ」などを通じて、外国人向けに地域情報や災害情報などを多言語で発信しています。

●海外送金件数と外国人労働者数の推移※



●外国人の豊かな生活をサポート



SDGsに関する取り組み事例 2

多文化共生・観光推進に関する協定を締結した自治体



多文化共生推進	
2016年 9月	愛知県名古屋市
2017年 2月	岐阜県可児市
3月	愛知県
4月	神奈川県
5月	神奈川県川崎市
10月	東京都新宿区
2018年 4月	愛知県豊橋市
7月	神奈川県横浜市*
8月	静岡県

観光推進	
2016年 9月	愛知県名古屋市
2017年 5月	神奈川県川崎市
2018年 3月	長崎県大村市
6月	神奈川県横浜市

(2018年9月末現在)
※(公財)横浜市国際交流協会



横浜市との締結式

SDGsに関する取り組み事例 3

金融犯罪防止に向けた対応を強化



増加する金融犯罪、その不正手口に対する対策は継続的に求められ、安心できる決済環境の確保が社会的に大きな課題となっています。セブン銀行ではお客さまからお預かりしている大切な財産を守り、安全な取引を行っていただけるよう悪質な金融犯罪に対する対策を講じています。

セブン銀行では、不正口座対策で培ったノウハウを連結子会社であるバンク・ビジネスファクトリーに提供。同社にてマネー・ローンダリング対策のサポートを2018年より開始しました。各行が不正手口に対する対応が求められている中で、高品質で生産性の高いサービスを提供し、金融業界全体として安心・安全な決済環境の普及に貢献しています。

Topics

警視庁生活安全部サイバー犯罪対策課より感謝状をいただきました

2018年10月、金融犯罪対策部は警視庁生活安全部サイバー犯罪対策課より、不正送金犯の逮捕の協力・事件解決に貢献したことに対し、感謝状をいただきました。引き続き、金融犯罪を撲滅する観点から警察と緊密な協力関係を構築し情報連携を行っていきます。



Voice

今後もATMを安心・安全にご利用いただけるよう、警察や提携金融機関と連携し、金融犯罪の防止に努めてまいります。犯罪手口の巧妙化・高度化が進む中で、新たな変化にも対応できるよう金融犯罪対策の強化を図っていきます。

金融犯罪対策部 阪井・細川

SDGsに関する取り組み事例 4

だれもが利用しやすいユニバーサルデザインのATM



セブン銀行のATMは、年齢、国籍の違い、障がいの有無を問わず、だれもが利用しやすいユニバーサルデザインを採用しています。ATMには「杖／ドリンクホルダー」を設置し、お取引中に杖や傘、コーヒーカップなどを置く場所を設けることで、お客さまの利便性を高めています。

また、全国すべてのATMで「音声ガイダンスサービス」をご提供しています。この機能の開発は、実際に視覚障がいのある方にご意見を伺いながら行いました。ATM操作でお困りの際やトラブル時にも、備付けのインターホンからコールセンターにご連絡いただけることで、だれもが安心して使えるATMサービスを提供しています。



だれもが利用しやすいATM機能

SDGsに関する取り組み事例 5

親と子を結ぶ絵本「森の戦士ボノロン」を寄贈



セブン銀行は企業市民として地域や社会に貢献していくために、親と子を結ぶ絵本「森の戦士ボノロン」へ協賛し、従業員が読み聞かせを行う「ボノロンおはなし会」を開催しています。「ボノロンおはなし会」は地域や社会とのコミュニケーションにとどまらず、従業員同士がお互いの理解を深める大切な場でもあります。

また、2011年より「森の戦士ボノロン」がデザインされた社会貢献型キャッシュカードを発行しています。このカードを一枚発行するごとに100円をセブン銀行が拠出し、全国の児童館に絵本を寄贈しています。



従業員が読み聞かせを行う「ボノロンおはなし会」

「森の戦士ボノロン」とは

ボノロンは、巨木の森タスマンに住む森の戦士。オレンジ色でとても大きなボノロンは、正義感が強く、とても頼りになる9才の男の子です。

悲しんでいる人が巨木に涙を落とすと、根をつたってタスマンの森に届きます。巨木から涙のわけを聞いたボノロンは、地上にあらわれます。そして魔法は使わずに、困っている人の背中をそっと押してあげる…心優しいボノロンは寄り添うように、願いをかなえてくれるのです。

(ボノロン公式サイト：<https://www.goo.ne.jp/green/bonolon/ehon/about.html>より)



©NSP2005、
©ボノロンといっしょ。2007